

# 夏季教頭研修会実施報告

- 1 期 日：平成29年8月8日（火）13：30～
- 2 場 所：鈴鹿市ふれあいホール
- 3 内 容

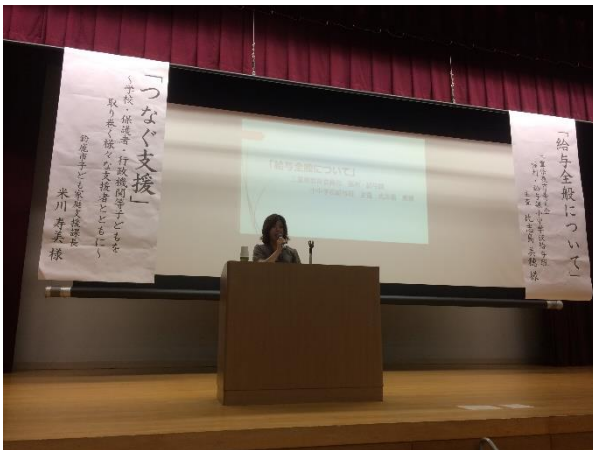
会長挨拶、調査部長挨拶の後、2名の講師さんによるお話がありました。会長からは、全国大会について、調査部長からは、調査結果から考えられる課題等を盛り込んだ挨拶でした。

<前半>

講師：三重県教育委員会福利・給与課 小中学校給与班

主査 比志島 美穂 さん

演題「給与全般について」



初任給、昇格、昇給、退職手当など給与制度の基礎知識をわかり易く説明していただきました。その後、給与条例より支給手当・扶養手当等様々な諸手当の概要について述べられました。

<後半>

講師：鈴鹿市子ども家庭支援課 課長

米川 寿美 さん

演題「つなぐ支援」

～学校・保護者・行政機関等子どもを取り巻く様々な支援者とともに～



子どもを取り巻く課題や鈴鹿市の体制、子ども家庭支援課と連携する関係機関について、教えていただきました。その後、相談支援の現場からの事例を2つ話されました。

## アンケートの抜粋

### <前半>

- ・事務さんにまかせきりで意識してなかった。とても参考になりました。(大多数)
- ・とても勉強になりました。毎月いただく給与票を資料にして説明していただけると、もっと身近なものになると思いました。
- ・個々の具体例を調べてみようと思いました。
- ・教頭として知っておくべきことだと思いますし、改めてゆっくり資料を確認したい と思います。
- ・この資料は大切に保管します。
- ・一度、自分の給与等について具体的な数字をあてはめてみたいと思いました。
- ・これを機に勉強し、職場からの質問にも答えられるようにしたい。
- ・評価については特に理解しておきたい。
- ・このことについては課題意識が希薄で、特に参考になる感じではなかった。
- ・具体例をもとに実習的な要素を入れていただけると、もっとわかりやすかった。
- ・聞かれたときに基本的なことは答えられるくらいに、と思って聞かせていただきましたが、いろんなパターンがあって難しかったです。
- ・1回ではなかなか理解するのは難しい。資料は2冊ともとてもわかりやすかった。
- ・加算になったことをもう少し聞きたかった。
- ・給与については、複雑な事務であろうとは思っていましたが、予想以上でした。事務職員に感謝です。書類の不備がないように声をかけたいと思います。
- ・今後も続けて研修をしていけたらと思います。
- ・現行の制度はよくわかったが、休職中の期間の計算や勤務年数の換算はよくわからなかった。いつでも質問できる身近な窓口を教えてください。
- ・自分の給与を計算してみるような研修を行えば、もっとよくわかるのではないかな。
- ・僻地校が28から35に増えていたので、そうした情報もしっかりつかんでおきたい。最新情報を知ることが大切。
- ・評価制度が本格的に実施され、勤勉手当に反映されているので、教頭として説明できるよ うに理解しておくことは大切です。
- ・1時間では足りないと思います。もっと時間をとって聞きたかった。
- ・管理職として評価する側の責任を痛切に感じました。
- ・本日の資料を使って、自分のペースで理解に努めます。できれば、本日の資料を容易な表現にしたようなものを配布していただけたらありがたいです。
- ・教頭としてどこまで知っていないといけないのか。

### <後半>

- ・講師先生のエネルギーを感じるすてきなお話でした。そっくりな事例が本校にもあり参考になりました。
- ・母親への対応などは、教頭にとっても同様の対応が求められるので共感できました。

- ・保護者・地域との対応の最前線で活躍しておられる方なので、参考になることがたくさんありました。
- ・**連携体制の大切さを改めて考えることができました。(多数)**
- ・子供のために関係機関と連携することをベースにねばり強く対応することが大切だと思いました。
- ・**具体例をあげてのお話でわかりやすかったです。(多数)**
- ・自校にもよく似た事例があり、共感できました。
- ・様々な立場の人が子供たちのために努力されていることが伝わってきました。今後の取り組みへの希望とエネルギーをいただきました。
- ・抱え込むと自身のメンタルがやられてしまいます。いろんな機関、周りにつながっていく必要性を感じました。
- ・「またお待ちしております」の攻めの言葉は参考になりました。笑顔で対応が大切だと思いました。
- ・事例をもとに考えることができよかったです。25%のところではめる、実行したい。
- ・行政のできるところとできないところについても教えていただきましたかっと思いました。
- ・鈴鹿市の手厚い支援は、やはり女性市長ならではの手腕なのでしょう。
- ・教頭の仕事も子ども支援課の仕事も幅広いと思いました。どんなケースでどこにつないでいったらいいのか具体的な事例の中でよくわかりました。
- ・プレゼンの提示が読みにくかったのが残念でした。**(数名)**
- ・自分も他市で同じような仕事をしていた。まだまだ関係機関との連携は不十分なので、こういった内容で今後も続けていただきたい。
- ・保護者にとっても連絡先が一つというのはありがたいのではないかな。
- ・大人の連携こそが大切ですが、担当ごとに対応していることが多い。協力を惜しまず、力を出し合っていくことが大切だと思いました。
- ・保護者の話をまずは傾聴する姿勢が教頭としては大切であると感じました。反面、危機管理の意識もしっかり働かせる適切な対応を心がけていく必要があると思いました。
- ・現任校は幼稚園が併設されていることもあり、もっと幼保の連携を考えたいと思いました。
- ・行政の対応の現状を知る機会になりました。生まれる前から情報をつかみ気を配っていることは大変なことではあるが、適切な対応、支援につながっていると思います。困ったときに 行きやすい状況づくりが必要だと思います。